

第 1804 圖

すべりびゆ科



まつぼたん
一名 ほろびんさう

Portulaca grandiflora Hook.

蓋シ弘化年間頃ニ渡來セル花草ニシテ普通ニ人家ニ栽培セララル南米原産ノ一年生草本ナリ。莖ハ繁ク分枝シテ撒開シ、圓柱形ニシテ紅色ヲ帯ビ、長サ20cm許ニ達ス。葉ハ螺旋狀ニ排列シ、肉質ニシテ圓柱狀ヲ呈シ鈍頭、長サ1-2cm許、葉腋ニ極メテ長キ白毛ヲ束生ス。夏秋ノ間莖頂ニ葉及長毛ニ圍マレテ徑3cm内外ノ大ナル無梗花ヲ開ク。萼ハ二片、廣卵形ニシテ膜質ナリ。花瓣ハ五片、廣倒卵形ニシテ凹頭、紫・紅・黄・白等種々ノ色ヲ呈シ、晝間ニ開ク。雄蕊ハ多數。花柱ハ五-九箇ノ反卷セル柱頭ヲ有ス。花後ニ蓋果ヲ結び、熟スレバ上半帽狀ニ脱落シ、中ニ多數ノ鉛色細種子ヲ容ル。和名ハ松葉牡丹ニシテ松葉ハ葉形、牡丹ハ花狀ニ基ク、不亡草ハ此草一度ビ種ウレバ年々子生シテ永ク絶滅セザルヲ以テ斯ク云フ。

第 1805 圖

すべりびゆ科



ぬまはこべ
一名 もんちさう

Montia fontana L.
var. *lamprosperma* Ledeb.
(= *M. lamprosperma* Cham.)

我邦中部并ニ北部ノ溪流側或ハ濕地ニ生ズル孱弱ナル淡綠色ノ一年生小草本。全草脊長ニシテ匍伏シ節間比較的長シ。莖ハ叢生シ纖長ニシテ分枝ス。葉ハ對生シ、筒形、長サ1cm許ニシテ鈍頭鋭尖底、無毛ニシテ質柔軟ナリ。夏日梢部ニ小形ノ聚繖花序ヲ成シテ細小白花ヲ着ク。花ニハ細梗アリ。萼ハ二片アリテ殆ド圓形ヲ呈シ宿存ス。花瓣ハ五片ニシテ萼片ヨリ長ク、就中雄蕊三箇ト對生セル者ハ稍小形ナリ。子房ハ圓クシテ上位、花柱ハ短クシテ三箇アリ柱頭ハ點狀ヲ呈ス。蒴果ハ小球形ニシテ三裂シ、中ニ數顆ノ平滑ナル細子ヲ藏ス。和名ハ沼繁縷ノ意ニシテ草狀ハこべニ似テ沼地ノ如キ處ニ生ズルヨリ云フ、もんちさうハ其屬名ヲ成セル MONTI 氏ニ基キシ名稱ナリ。

第 1806 圖

すべりびゆ科



はぜらん

Talinum crassifolium Willd.

蓋シ明治初年頃ニ渡來セシ熱帶亞米利加原産ノ質軟カキ無毛平滑ノ一年生草本ニシテ庭園ニ栽培セララル。莖ハ直立シテ高さ60cm許ニ達シ圓柱形ニシテ綠色ヲ呈シ下部ハ質稍硬シ。葉ハ互生シ、倒卵形ニシテ葉頭稍尖リ底部ハ漸次ニ狹窄シテ葉柄ト成リ、全邊ニシテ長サ5-7cm許、綠色ニシテ肉質ナリ。夏日莖頂ニ多枝ヲ岐チテ大ナル圓錐花序ヲ成シ、多數ノ紅色小花ヲ開キ、花梗ハ纖長ナリ。萼ハ二片アリテ脱落ス。花瓣ハ五片ニシテ萼片ヨリ長シ。雄蕊ハ十餘。花柱ハ三岐ス。蒴果ハ球形ニシテ乾皮質、徑4mm許、三心皮ヨリ成ル。種子ハ碎小ニシテ微細ナル小突起ヲ密布ス。和名ハはぜ蘭ノはぜハ何ノ意乎、花ノ散亂シテ咲キシヤ或ハ米花(はぜ)ニ擬セシ乎不明ナリ。

第 1807 圖

つるな科



まつぼぎく

一名 さぼてんぎく

Mesembryanthemum spectabile Haw.

觀賞花草トシテ蓋シ明治初年ニ渡來シ往々盆栽トセラレ又暖地ニ在テハ家外ノ石垣ナドニ能ク繁茂セル南亞弗利加原産ノ常綠多年生植物ニシテ寒ヲ畏ル。莖ハ木質ヲ呈シ下部ハ横臥スレドモ多數ノ枝ハ上向シテ密ニ叢生シ高さ凡30cmニ及ブ。葉ハ密集シテ綠色ヲ呈シ、對生シテ底部ハ多少聯合シ、線形ニシテ多肉三稜形ヲ成シ上部狹窄シ葉先ハ鈍頭ヲ成シ、長サ3-6cm許アリ。夏月長花梗ヲ抽キ、頂ニ紅紫色ノ大花ヲ獨在シ、日光ヲ受ケテ開キ頗ル美ニシテ宛モ菊花ノ如シ。花梗ノ中部ニハ對生セル葉狀苞ヲ着ク。萼ハ五深裂シ、裂片不同ナリ。花瓣ハ多數ニシテ線形ヲ呈ス。花心ニ多雄蕊アリテ黃約ヲ有ス。花柱ハ五箇。蒴果ハ漿質ナリ。本種ヲ *M. tenuifolium* L. トスルハ非ナリ。和名松葉菊ハ其葉松葉ニ擬シ花ヲ菊花ニ擬シ、又仙人掌ハ其葉宛モさぼてん類ノ如ケレバ斯ク云フ。

第 1808 圖

つるな科



はなづるさう

Aptenia cordifolia Schwantes.
(= *Mesembryanthemum cordifolium* L. fil.)

邦内偶ニ觀賞植物トシテ栽培セララル南亞弗利加原産ノ常綠多年生草本ニシテ寒氣ヲ畏ル。莖ハ長サ30cm内外、斜臥シテ枝ヲ分ツ。葉ハ對生シテ葉柄ヲ有シ、扁平ニシテ多少肉質ヲ呈シ、心臟狀卵形ニシテ鈍頭ヲ有シ、全邊ニシテ綠色ナリ。夏日頂生或ハ側生セル花梗頂ニ獨在セル紅紫色ノ小花ヲ開ク。萼ハ倒圓錐形ニシテ四裂シ、二裂片ハ大ニ二裂片ハ小ナリ。花瓣ハ短クシテ線形ヲ成シ、多數アリ。多雄蕊。四花柱。此種徳川末葉時代ニ始メテ我邦ニ渡來シ當時花戸ノレハはなづるさうト呼ベリ、而シテ此和名ヲつるな屬(*Tetragonia*)ノ一種 *T. echinata* Ait. ニ附スルハ非ニシテ其實物ヲ誤認セルナリ。和名ハ花蔓草ニシテ早くモ本種ニ對シテ命ゼラレシモノナリ、即チ花アル蔓菜(*Tetragonia expansa* Murr.) ノ意ナリ、然シつるなモ固ヨリ花アレドモ顯著ナラズ。

第 1809 圖

つるな科



つるな(番杏)

一名 はまちしゃ

Tetragonia expansa Murr.

海濱ノ砂地ニ自生スルモ時ニ又圃中ニ栽培セララル多年生草本ナリ。全體多肉質ニシテ毛ナク、表皮細胞粒狀ニ突起ス。莖ハ疎ニ分枝シ下部個臥シテ上部ハ傾上シ、綠色ニシテ長サ60cmニ達シ、長ク成長スル者ハ稍蔓様ヲ呈ス。葉ハ互生シテ葉柄ヲ有シ、三角狀卵形或ハ菱狀卵形ニシテ鈍頭ヲ有シ全邊ニシテ質厚軟、長サ概ネ3-6cm許ナリ。春ヨリ秋ニ互リ殆ド年中葉腋ニ一ニノ黄花ヲ開ク。花ハ極メテ短キ梗ヲ具フルモ殆ド無梗ニシテ淡綠色ヲ呈ス。萼ハ略ボ上位ニシテ四五裂シ、裂片ハ廣卵形ヲ成シ、内面黃色ナリ。花瓣ヲ缺ク。雄蕊ハ黃色ニシテ九乃至十六。子房ハ下位ニシテ短倒卵形ヲ呈シ、花柱ハ四-六岐ス。核果ハ短倒卵形ニシテ肩邊ニ四-五箇ノ突起ヲ有シ頂ニ宿存萼ヲ冠シ、果皮粗縷ニシテ堅硬ナル核ヲ包ミ、核中ニ數種子閉在ス。往々葉ヲ採テ食用トス、又民間藥ニ使用ス。和名ハ蔓菜ニシテ其莖蔓ノ如ク其葉ハ菜トナスベキヨリ此名アリ、濱高苣ハ海濱ニ生ジちレノ如ク葉ヲ食門ニスルヨリ斯ク云フ。漢名 蕪菜(誤用)